

# 経済 信州発

## 県内新製品

☆自社畑のシャルドネから造ったブランデー発売

サンクゼール(上水内郡飯綱町)は、自社の畑で栽培したブドウのシャルドネを100%使った「サンクゼールブランデー-2021 Blanche シャルドネ」=写真=を数量限定で発売した。2017年から飯綱町産のリングでブランデーを造っており、ブドウを原料にするのは初。販売は同町のサンクゼール・ワイナリー本店のみ。

たんで熟成していないブランデー。シャルドネの上品な香りが楽しめる、まろやかな味わいに仕上がったという。アルコール分は40%。シリアルナンバーが入った245㏄入りは税込み3740円。35㏄入りは同913円。

☆無線通信対応の電気設備向け現場測定器

HIOKI(上田市)は26日、電気設備の電圧や電流、周波数などを現場で測定する手持ち式測定器「デジタルマルチメータ」の新製品=写真=を発売した。無線通信で測定値をタブレット端末などに送信でき、保守管理業務の効



冷凍ギョーザ製造の信栄食品(松本市)は、自動販売機による冷凍ギョーザの販売を強化する。新型コロナウィルスの流行が長期化する中、客と店員の接触がなく、24時間稼働の自販機は利用が増える

と予測。これまでの自社敷地と予測。これまでの自社敷地拠点に続く3カ所目、計5台

冷凍ギョーザ製造の信栄食品(松本市)は、自動販売機による冷凍ギョーザの販売を強化する。新型コロナウィルスの流行が長期化する中、客と店員の接触がなく、24時間稼働の自販機は利用が増える

## 信栄食品が設置拡大

### 「店員と接触なし」利用予測



ホットプラザ浅間に設置された自販機(左)と運用を始めた冷凍車

## ギョーザ自販機強化

目。ギョウジャンニンクやシソ、地元産の松本一本ねぎなどをを使ったギョーザ5種を販売する。新たに運用する冷凍車を使い、社員が商品を毎朝補充する。自販機の設置は5月に始めた。同社によると、直営店前

## 都市と田舎二拠点生活を低価格で



北佐久郡軽井沢町などで移住者向けに不動産仲介を行う「みよたの不動産」(北佐久郡御代田町)は今月、低価格のユニットハウスと土地をセットにした「ジャスト・ユニット」の販売を始めた。ユニットハウスの値段は、簡易的な工事であれば税込み200万円台。都市と田舎に拠点をもち、定期的に行き来する二拠点生活を低価格で後押しする。

## みよたの不動産 ユニットハウスと土地販売

掘イと合 トト格 ついな所 ががえ気か